



3月は識字率向上月間です。国際化が進展した現代社会においてはもはや、自国の発展のみを考えているだけでは不十分で、国境を越えた人類全体の進歩を視野に入れなければなりません。そのような意味においても、識字率は避けて通ることのできない問題です。

現在でも世界中で読み書きのできない人が信じられないほどたくさんいることはまぎれもない事実で、国際ロータリーでも長年にわたって識字率向上を重要課題として位置付け、世界各地での積極的な取り組みを推奨してきました。

人類にとって文字は非常に有効なツールであり、読み聞きで情報をインプットするとともに話し書くことでアウトプットして活発なコミュニケーションを実現しています。しかしそのうちの読み書きができないとすれば、重要な手段の半分しか活用できないこととなります。これが人の人生や生活にどれほどのハンデを与えるかは明白で、貧困や搾取などに苦しめられることにつながります。

こうした課題に私たちロータリアンが取り組むのは、誠に有意義なことであると考えます。読み書きを通して得られた知識や教養は、必ず子や孫へと受け継がれていくはずで、代々継承される大きな「財産」の構築を

私たちがお手伝いできるとすれば、これほど素晴らしいことはないと思います。

皆さんにはぜひこの機会に再度、識字率についてお考えいただき、その向上を通じて地域を育み、大陸をつなぐ一助にいただければ幸いです。

今月はまた、13日を含む週が「世界ローターアクト週間」に指定されています。これは世界中のRCとRACに国際規模の共通活動に参加してもらうことが目的で、当地区でも13日に「世界RACデー」を開催致します。

「新世代」が5番目の奉仕部門となった今、若い世代を育むRAはますます重要度を高めている活動の一つと言えるでしょう。会員数の減少や高齢化などの問題を抱えるわが国のRCにとってはまさに、未来をしっかりと見据えてもう一度その意義を再認識する必要があるはずです。RACを提唱されているクラブではさらなる活発化を、そしてまだ提唱されていないクラブはその可能性を、改めて真剣に議論してみられてはいかがでしょうか。

そしてまたRACの活性化を、いかにしてRCのそれにも融合させ結びつけていくかという課題についても、今一度よく考えてみるのが求められるでしょう。